

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	10_群馬県
市区町村名	103845_甘楽町
自治体区分	都道府県

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
103845_甘楽町	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	町内の3校区の小学校教員の3割が月45時間以上の時間外勤務をおこなっており教員の業務負担軽減が課題になっている。	小学校において、学校授業終了後は速やかに放課後子ども教室に移行し学校と地域の役割分担を明確化。統括サポーターを配置し、各小学校と連携した活動の取り組みを行う。	授業終了後の教員の業務負担軽減に向けて、児童が放課後地域の協働活動サポーターと過ごすことにより、業務改善を図り、時間外勤務を削減。	小学校教員の月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	30	%	20	11.8	4 ・放課後、地域の協働活動サポーターが児童と過ごしてくれることによって、教員の教材研究や授業準備、打ち合わせ等が勤務時間内に行うことができるようになり、それぞれ時間外勤務時間を削減することができ、月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合が減った。	https://www.town.kanra.lg.jp/kenkou/kodomo/news/20221017131934.html
103845_甘楽町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	遊びの停滞、並びに友達との関りの希薄化が見られ、トラブルやちょっとしたことで怪我をしやすくなっている。放課後子ども教室で児童が楽しめる要素が少なくなっているのが課題。	統括サポーター並びに各地区毎にリーダー的なサポーターを配置し、協働活動支援員やボランティアスタッフを動員して子どもたちに向けた活動を計画して様々な体験ができるようにする。	学習以外の様々な体験ができる機会を設け、楽しく過ごせる児童が増える。	学期に一回以上体験活動に参加する児童の割合	50	%	80	75	3 ・体験活動の物作りは、全学年において押し花コースターやリース作りなど体験することはできた。地域ボランティア団体の催し物は、下校時間の関係で1年生から3年生が参加、大型紙芝居や南京玉すだれ、手品など楽しく参加できた。催し物については月曜日5校時下校を利用し、全学年児童が参加できるようにしたい。	https://www.town.kanra.lg.jp/kenkou/kodomo/news/20221017131934.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。